

2 ミミア姫

田中ユタカ

騎士の短髪
いまだ冒険の少年



ミミア姫 2

騎士の短髪 いまだ冒険の少年

田中ユタカ



9784063144918



1929979005627

雑誌 55/723-91

ISBN978-4-06-314491-8

C8979 V562E (0)

アフタヌーンKC 講談社

定価 本体342円(税別)

その男の子は世界を救う英雄になると
予言されて生まれてきました。

「この美しい世界は、実はとても壊れやすく、
いたるところで歪み、ほころび、
見えざる魔が出現し続けているのだそうです。」

サムライたちの働きと犠牲によって
わたくしたちの暮らすこの世界はようやく保たれているといいます。

ルロウとわたくしは同じ館できょうだいのように育ちました。
強いところはよく、弱さをいひわたくしを助けて飛んでくれました。
現在はサムライの見習いです。修行をがんばっています。

花祭りの夜の森で、わたくしは魔と出会いました。
天狗とも呼ばれるこの「雪の魔」で
あってはならない事件が起こってしまったのです。

そんな時、長い旅から
降もった男の子が帰ってきました。

旅を許して
頼もしいサムライが
わたくしのもとへ帰ってきました。

「ルロウが帰ってきました!」



ミニミア姫 2

原 典

騎士の帰還
―光の国境の少年―

田中ユタカ

高橋：「オオ、スゴク可愛いわね」
アキラ：「アキラ、アキラ、アキラ、アキラ」



目 次

第5章

早春賦

— 3 —

第6章

227年の長雨

— 41 —

第7章

光の羽根の少年

— 85 —

第8章

騎士の帰還

— せかいのひみつ —

— 132 —

あとがき

— 172 —



第5章 早春賦

小さいころ

クルスリの嬢さまと
お話するのが
わたくしは
とても好きでした



姉さまは

経緯がどうもよく分らず
そのうえ
お殿が大事様上様で

姉さまが語る
どんなお話も
わたくしを
夢中にさせました



陽の光に
長いまつ毛の影が
姉さまの頬の上に
落ちていました



すでに
光のお羽根を失うほど
お年を召されて
いらつしやいましたか

そのお顔は
とても
美しくありました



深く静かな
お声をされて
いました



そして、お母さんは
幼いあまの言葉に
いつも真剣に聞いて
くださりました

念願の「ちから」を
持たない
わたくしの言葉
を聞いて
くださいました



ニッコリと
お笑いになって
くれました



おさまの
笑顔が
わたくしは
大好きでした







それは……

……



……



……



……

はい
痛快
でした



現在、
クルスリの地さまは
見晴らしのよい所に
庵を結んで
暮らしております



わたくしの話を
ゆっくりと
時間をかけて
理解されると
福さまの小さな
お顔は……

三三三



ほほほほ…

おシワいっぱいの
笑顔になりました



聞きよは若いころ
たくさん旅をなさった
ということですよ

「雲の巻」の
ちよつとじれた有名な
だったそうです

美しく
勇敢な女性として
たつぷりと人生を
生きて



わたくしが
とうとう
聞くことが
できなかった
物語を

まだまだたくさん
お持ちでした



でもね、かい一
けつこう
悪いぞ

やり方
勉強しました



お褒めするの
お手伝いさせて
ください



お褒めせ
いたします
くださる……



小さいわたくしを
かわいがってくださった
姫さまのお身体は

薄紙のように
軽くありました



はい

ありがとうございます

クルスリの姉さまは
今年の「闇祭」の夜に
この世を
お去りになります





わたくし
足だけで
どこにでも
行けてしまうん
ですよ

きゅっ



今日も
きゅで
またのかい！

はい



いつも
不思議だ

どうやって
舟にも乗らず
飛びもしないで
船からここまで
来られるんだろ？

うふふ

わたくしだけの
道端が
あるんです

飛ばすに行ける
道端を小さいころから
いくつも見つけて
きたんですよ

飛ぶより
角より
近道だったりも
するんですよ

わたくしの
得意技です

たまに
平晶のように
驚かれるのが
楽しいです

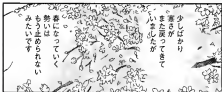
うーむ
大した
もんだー

お付きの
大きないぬも
今日はいいんだね

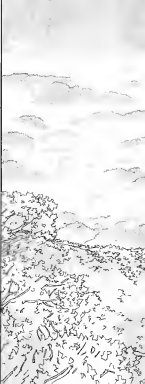
お口やさんにも
たまにはお休みを
あげますと

では
ごきげんよう









この「闇の影」が
死後に赴く
安らぎの国を
言われていると
教えてくれたのは
姫さまでした。

クルスリの姫さまは
ここをお去りになって
どこへ旅立たれるのでしょうか？

現在よりずっと
よくお話ができてよかったの
姫さまは、ご自身の
お立ち回りになるのを
喜んでくださるのを
うれしく思っています。

わたくしは
優しく
うろたえました。

よしよし
やさしい
姫さまです。

生まれた者は
必ず死ぬもの
なのです……

森シ坊が
やがて立ち上がり
坊子へと育っていくのを
止められないのと
同じことなのです……

つばみが
泣になるのを
嘆く者はありません
でしょう……

細きま

こわくは
ありません
か？

こわいものかどうか
よく見ておきなさい

わたしが
この世を去る姿を
ご自身の眼で
よく見ておきなさい

姫さま

この闇の死を……

お羽根のない
姫さまへの贈り物と
いたします



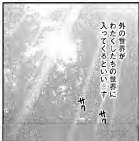
夏の終わりの
「闇祭」の夜

一年に一度だけ
「闇の都」のすべての「門」は
開放されます

外の世界が
わたしたちの世界に
入ってくるというす

サウ

サウ



マナヤさんは
今年の「闇祭」で
恋人と一緒に
「飛ぶ」のだそうです

新しい生命を
授かるのです



お相手は
どなたなの
ですか？

だめです
まだ
内緒です

はい

大好き
です

マナヤさんは
その方のこと！

とても好き
なのですわ



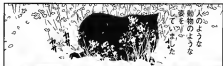
同じ夜に

クルスリの輪は
亡くなり

マナヤさんは
好きな人との
赤ちゃんと会います

かんという
不思議な名前







この世のものではありませんでした





……………

ルロウが以前
言っていました

「鬼といっても
むやみに恐れる必要は
ありません」

「あれらも同じ
この世界の
ものです」

「助の通じない
相手では
ありません」

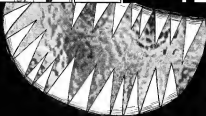
こ小鬼さん

通を通して
くださいな

わたくしは
明けの顔のよさを
中します

お家に
帰りたいのです
どうや通を
通してください

通じました!!







もうぎき書ッ!!

ろ

あらッ

トルカッ

くッ!!

杖をもって
成敗しますよ!!

下がりなさい!!



ああッ!!
黒ぶなんて
ズルいですーッ!!

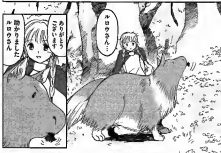


あ

む









まあ
これは
鬼の尻尾……



姫さま 大事
ありません
でしたか??

文華
ありません
かゆさんが
悪い風って
くれました



……しかし
これはいったい
どうした……
でしょう……

うんか……



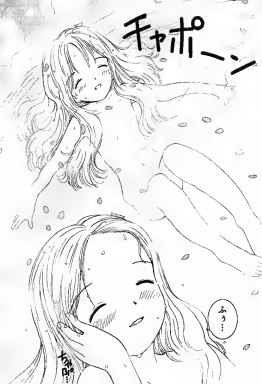
「鬼の墓」の中に
鬼が隠れる
なんて……

ほん

第6章 ミミア姫の長雨



チャポーン







特別な
清めのお湯です

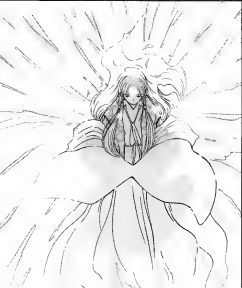


それで
すみずみまで
しつかりと
洗い流すのです



あなたは
鬼に出会ったの
ですから

ちびっ
ぽ...









こころアを助ける
ためとはいえ
鬼に直接触れた
ムロウさんもです

平穏して
ください

ほん

姉さま
しばらくとは
どのくらいですか？

少なくとも
一週間は……
いやもっと長く
かかるかも……

それまでは
彼の中で大人しく
していなさい

困ります…

未週は
モルカ種
たちと
ピタムツタの
お約束が
あるのです

残念ですが
許可できません

お膝びのお手紙を
書きなさい

姉さま……

「雲の都」太閤代
代行としての
申し付けです

大人しくして
いなさい!!

姉さま……



母さまが
ご心配
なさいます



母さま
が……

このところ
またご体調が
すぐれません

だから
わがりますね
とア



はい!!

物忌みに入り
心身を慎みます

鬼と出会ったことは

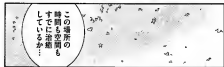
思っていたより
ずっと大きな事件
だったようです



わたくしや
わたくしの家族に
とってという
だけでなく

それは
「愛の都」に
とっての
事件でした





この場所の
時間も空間も
すでに消滅
しているか……



鬼が
出るには……

いかにも
細く、く
花盛りの
森だ……

わい



327画







発見
できません

最大城で捜索を
かけていますが
跡の跡を頼ったところ
奥はどこにも
見つかりません

今回の件
奥の出現自体
予知・感得した者が
あったのかもしれません

未だ
奥の奥の奥の
しるしかな



他のサムライたちも
現在都に奥の存在を
感じている者は
やはりいません

これ以上は
推しようがなく

それに



いずれにせよ
あらゆる通りの「ちから」が
強力に働いている
この「雲の都」の中で
鬼が在り続けられよう
はすもありません

御大将

日暮路にあった鬼の
大さきから言っても

すでに減したと
考へるのが
妥当かと……

フム……

「雲の都」の「壁」及び
すべての「門」には
壊られた形跡などなく
異状は報告されて
いません

「雲の都」は
現在安泰です

……

探索は
これまで！
各自帰えに
戻れ！

はッ！

行けッ！



この場所是我ら
の術をもつて
封鎖とする！

引け

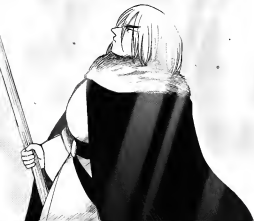
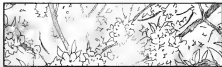
今回の件
決して
小事と見なすな！

はッ！
御大将！



都のサムライたち
全員に
引き続き油断なく
と伝えよ！





ああ……

よい春
だな……

この世は
まわれもなく
生きていて……

生きている以上
は……

病みもすれば……
傷つきもし……
死ぬこともある……
か……

世界のほころびは
11歳になった姫の
そばで始まると
いうのか……

わがま
りタドとハラハ
の子……

我らの
「ちから」のおよばぬ
「神さまの子」か……

雲の都に

雨が

降りはじめました



A dark, grainy, black and white photograph of a night scene. A street lamp is visible in the upper center, casting a bright glow. Rain is falling heavily, creating a dense pattern of white streaks across the dark background. The overall mood is somber and atmospheric.

母さまがまた
床に伏せられるようになりました



「そうして
少しの間
わたしは
扉を開じた」



「いま
わたしのふるきとは
無数の雨に
濡れている」

「ああ
神さま
赦してくれたの
ですね」

「さっばりと
洗い流された
身体と魂で」

「わたしと
わたしのふるきとは
夏の訪れを
待つのだ」







今日も一日
雨ですか……
もうずいぶん
長いですね……

雨じやうの
いたるところで
川があふれて
しまつたそうです

今年の事は
「おだやかを
晴れの日に続く」
はずでしたのに……

こんな天気
になるとは
誰も予知して
いませんでした



不意に
こわいおえは

雨と一緒に
わたくしに
降って来ました



雨さま……

この長雨は
何かよくないことが
起る前兆なのでしょう
か……

こんな天気には
なるとは
誰も予知していません
でしたよね……



……
おれす



予知されることなく
わたくしの身に起こることを
わたくしが行うこと
すべて……



それは
他の人や物にも
何かの影響を
及ぼさずにいられない
ものではないでしょうか

……わいです……

わたくしのせいで
本来あるべきだった
多くの人の運命が
変えられてしまう……

そんなことは
ないでしょうか……

わたくしに
関わることが
予知できないと
いうことは……

それは……

わたくしに
関わる人たちの未来を
みえないものに変えてしまう
ということでは
ありませんか





サ
.....



ア
ア
ア
ア
ア

ごめんなさい……

母さま……

ア
ア
ア
ア
ア





いまから
母が
言うことを

しっかりと
聞きなさい

心に刻みつけ
なさい



よく
言っておきます

決して
間違えては
いけませんよ

お母さん



あなたという娘に
出会えてよかった

本当によかった!!

あなたが
いてくれて
うれしい!!



あなたに
吸わせた
お乳です
わかりますか？



…はい

母さまはいま
何も怖いものなど
ありませんよ
勝りと
よろこびを持って
これこそが
自分の人生だと
言えます



あなたが
生まれてくれて
母さまの人生は
とても豊かで
しあわせなものに
なりました



いいですね
ミリア

この先一生涯
何年たっても
どんな場面でも
決して間違えては
いけませんよ

あなたは
わたしを
しあわせに
しました

わかり
ましたね
ミミア





はいッ!!
母さま!!

長雨は
まだ
止みそうに
ありません



母さまは

こうい

おつしやつてくれました

自分が

他の人や世界と

分ちも離く在るものだ

とつくことは

それは大変良いことです

大切な成長です

その

おつしやつてくれました

今日

モルカ様アマルナ様

ネビ様の三人が

お見舞いに來てくれました

物珍みが明けたら

一緒に舟遊びをしようと

約束しました

父さまと姉さまは
とても忙しそうに
されています

ルロウはまだ
都に帰ってきません

実はしばらく前から
連絡が取れていないと
知りました……

どうか
危ない目に
あつていたり
しませんように



第7章

光の羽根の少年



このくらいの間は
星がいちばん
美しくなるな……

星たちは
あまりに遠い

天の光のほとんどは
はるか大過去に
生まれた光たちだ…

その光たちが
今夜われわれの
もとに降り
こうして静かに
世界を照らして
くれる……

わるくないな…

はい
シリユウ先生





今夜
来るでしょうか？

ああ……



夜が明ける前に
来るぞ



ここがヤツの
生まれた場所なんだ
これ以上逃げ場はない

向こうだってもう腹黒た
死にもの狂いで
戦いを挑んでくるぞ

決戦ですわね

ああ
3ヵ月かかったが
間もなく
決着がつく

朝日を
拝めるのは
われわれか……
鬼か……だ……

それにしても
いい星だな

そっちのほうが
よく見えるだろ？

ええ
素晴らしい！！

！！

先生ッ!!

ああ!!

来たぞ!!

大鬼退治だ!!

ゆくぞ!!
ルロウ!!





THE



THE
V

我は光の羽根を持つ者!!

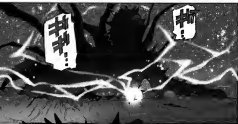
汝この地より
生まれし鬼!!

我が光の
導きに従い

空と地に
還るべし!!

我が光を
破ることは
出来ぬ!!

汝その場を
動くこと
能わず!!





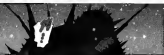
この大鬼
おまえひとり
仕留めなさい

俺は手を放す

おまえに
まかせよう

先生!!

せ
先生ッ!!







シリエウ先生——

!!



シリエウ……

師として
告げる



今日を
おまえの一人立ちの
朝とする!!



見届け
させてくれ

いいわ
ルロウ



はいッ!!



我は光の羽根を
持つ者!!



おおおお



この場で
全軍が死す



能わす!!



汝その場を
動くこと……









汝

我が光を
受け入れ

その痛みと
苦しみを

癒されるべし!!







ハ
千

ハ
千

ウ
キ

キ
キ

キ

お
お
—
—
すまん!!

遠慮なく
ご馳走に
なるぞ

キ

キ

キ



にぎやかで
いい

鬼さえないない
世界なんて
よっぼど
まっぴらだ



それに
こいつらのおかげで
久しぶりに
まともな重い物に
ありついたらよ

美味



先生は
悪徳の魔使い
なのに
いつも鬼たちに
慕われますね



キキキ

キキ

キキ

ハロウ
そう思う
おまへは
いつも鬼に
懐かれるな



キ



はははは





すみません……

上手く「こちら」を
調整できなくて……

まだまだ
です……



それから……

今まで修行を
共にしてきた

先生にいただいた
大切な
サムライの杖も

砕けてしまい
ました……

うむ……

並の杖では
おまえの「ちから」を
受け切ることが
できないよ

ルロウ
背中……

……



やはりな……

封印が薄れて
しまっている……

姉さまが持つ期間が
だんだん短くなっ
てきたな……

都に戻ったら
また新しく
付けなおそう

……………





顔に似合わず
豪胆な男だな
おまえ

おい!!



はい……



今日の試練は
一生の自慢に
できるぞ!!

私も度胸も
ついた!!

おまえは
一人前の
サムライだ!!

はい……

ルロウ

おまえは
「呪われた子」
なんかじゃない

大切な人と
大切なものを護る
偉大なサムライだ!!

ちゃんと生きていける!!

はい…!!

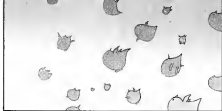


おいおい
俺の衣

臭いだろう？

いいえ

先生…






その男の子は
世界を救う偉大な勇者に
なるといふ

予言と運命を持つて
生まれてきたのだそうです

赤ちゃんの背中には
誰も見たことのないような
七色に輝く
美しい光の羽根が
ありました



古い物語の大英雄と
同じ名前が
男の子に与えられました

ルロウ

あと半だけ
この「神聖の野」を
満ちれば
道は明になる

だけど……

予知された未来は
男の子がまだうんと
幼いころに………
消えてしまいました

はい

誰にも
見えなく
なりました

ルロウ

第22







よし
今夜は
ここで寝よう

はい
先生



そうか
あの二姉さまの子しも
間違か……

オレも
オクサンに
なるワケだ……

おまえは
ずっと一歳に
育ってきたん
だったな……

説いは
悪やかたろうな

背も急に
高くなられ
ました
本当に
お小きかった
のに……

女の子だから初めて
大人の暗作業をさせて
もらったりしてな……

……………

そうですね……

夕暮りか
……………

「闇の都」が
いよいよ近づいたところ

その大河のほとり
で
シリユウ殿は
不意に足を止めて……



終を導はすことを
決めたのだそうです

おまえに
新しい杖を
授けよう

おまえの「ちから」
でも折れない
特別な杖だ

戦に使える……

たくさん
殺せる
杖だ

先生……



「おまえには
遠からずそれが
必要になるだろう」

そうおっしゃった
シリユウ殿の瞳は
不思議な光を
たたえていたそうです

都に戻ってきて
もルロウはその杖を
わたくしには
見せてくれようとは
しませんでした

「雲の都」は
春の盛りです

長雨もようやく
上がりました

そして
大人のお祝いも
すませてしまった
わたくしは

ルロウの帰りを
待ち遠しく
願っていました

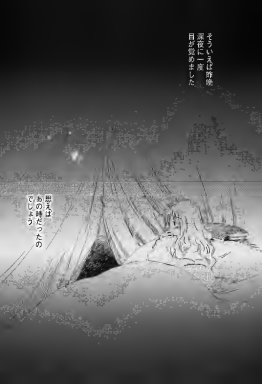
ミミア姫




第8章 騎士の帰還 〜せかいのひみつ〜

そういえば昨夜
深夜に一度
目が覚めました

思えば
あの時だったの
でしょう





ルロウが
帰ってきたのですか!!

「雲の都」に
帰ってきたの
ですか!!











ずっと
話したかったのです

いっぱい
話したいことが
あるのです





「夕食には
会える
でしょう」

「今夜は
ブルウの
歓迎会だ」




帰ってきました

帰ってきました



ルロウが
家に
帰ってきました



サムライたちの
働きと犠牲によって
わたくしたちの暮らす
この世界は
かろうじて保たれていると
思います



この世界は
次々と絶えず
穴の開き続ける
舟のようなもので
常に手当て
し続けなければ
ならないもの
なのだそうです

「歴史」や「場所」からは
必ず鬼が生まれてきます
終わることはありません

もし
サムライたちの働きが
追いつかなくなれば
わたくしたちの世界は
壊れてしまうといひます

彼らは
世界を護って

そして
黙って
消えていきます

サムライは
誰からも
とても敬われます



姫さま

ひまこ

はうッ!!

何をなまってるんです!

さっさとこの辺を何度も

ママ
マナヤさん

ああ
ルロウ殿
ですね

まだ
驚いてるみたい
ですね

いえ
わたしは
そんな

マナヤさんは
昨夜もう
ルロウと会ったの
ですか?

いいえ

ですがね
今朝聞いた
話ですけど
ね——

ルロウ殿!

ずいぶん
感じが変わっていた
そうですね

その夜の
夕食の時刻の
なんと
待ち過ぎかった
ことが……



いつも静かまに
子どもっぽいと
笑われる
短い髪はやめて
長いのにしましょう





ケガもなく
無事で帰ってきて
くれて何よりだ
サムライの旗
二百方々までした

5ヵ月なりに会った
ルロウは……

おかえり
ルロウ

たしかに
感じが変わっていました

はい
リクド様







髪がのびた
せいでどうかな……

肌が白に焼けた
せいでしょうか……？

今度の旅では
大手前だった
そうだね

かの大変を治めたのは
おまんたと
いうじゃないか

すばらしい
働きです

ほとんどは
先生が
なさいました

わたしは
最後の最後に
お手伝いした
だけです……

声変わりした
ルロウの声に
まだ慣れていない
せいでしょうか……？



11歳
おめでとう
ございます

お祝いを
申し上げるのが
すっかり遅く
なりました



あ
ありがとう
ございます

大切なお祝いで
返すことが
なかったことが
残念です

とても
素晴らしい
お祝いだった
そうです

はいー

あれ？

どうしたの
でしょう

……？

……い……

も……



おかしいです……

話したいこと
いっぱい
あったのに……

ずっと
ルロウに話したくて
たまらなかったのに……

父さんの言葉は
ずっと心に
残っています……

みんなの前で
「一生の戦い」を
戦ったのは……

小娘に会って
初めて戦ったのは……

物さみの時も
ルロウの顔に
いてくれたり
どんなに
心細かったか……

……

わたくしにとっての
大事件が
もうルロウには
全然関係のない
子どもっぽいことの
ように思えて……

悲しくなりました







ありがとうございます
ございます

これは
……

「雲の都」の外の
花の種類です



「星海草」
という名前です



小さな青い花を
つけます

旅の途中
海のそばを
通りました

そこに
一面咲いて
いました

ああ
潮の香りが
残っていますね

海……

わたくしは
本でしか
知りません……

44

...

今年のうちには
正式のサムライに
なる儀式を
行うそうだね

はい

うん!!

うん!!

「護りの羽衣」を
授ける役は
ラサハが
ふさわしい
だろう

はい!!

長い修行に
よく耐えましたね
おめでとう
らさわ

わたくしに
とっても
こんな
嬉しいことは
ありません

よろしく
お願
いたします
神宮さま



ドキ...

ドキ...

ドキ...



旅から帰った
ルロウの横顔は……

世界の秘密そのものに
感じられました

ミミア姫 第2巻

騎士の帰還 -光の覇者の少年- おわり

補 遺

設定資料抄
幕 間

「靴下」

あとこれのポイントは何と言っても靴下です。

靴ではしっかりした靴を
履くことは
ほとんどありませんが、

アンクルレットと合わせてリ
ボンや飾りをつけてみたり
かその結びちぎを美しくしたりを
図案しています。

うまくいくと
うれしくなります。

めねがうと
貸さぬいっこをするのが
また楽しいです。

それと、わざとくちの顔では
このうんと細い指が流れていきます。
上唇に隠れてもさうくらいがいいのです
(うすの指とまは、あきれきりうすの指とまは)。



【雪のお囃子】

あつたがーい雪はまっほりふれると
身体がふわっと暖く感じます。

雪の人はみんな
このお囃子にのびがありません。



お気に入りの色いふりをする雪花や
雪がたまる植物とともに
ゆっくりといたがえます。

まことにゆめ気分です。

【ルロウさん】

ルロウさんは「ちがら」を持たないわたくしを
幼いころからずっと、
いつも助けしてくれている【いぬ】です。

「ちがら」を持っていて、少しですが恋慕もできます。



わたくしが小さかったころは、
よく道中に倒れて運んでもらったものです。

現在はすっかり古代士のような環境で
稲毛しい限りです。

「奇」

「奇」は、昔の物語に書かれた（奇）とす、
空中を飛ぶように描かれています。

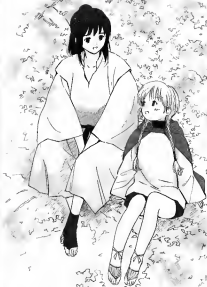
昔の物語に書かれた（奇）とす、
空中を飛ぶように描かれています。



自分の舟を飾るようになったり
それはいくらでも、
あこがれます。

それに舟は、いつも
お姫様の王冠を飾る
様子に描かれています。
それだけでも、
お姫様の王冠を飾る様子に描かれています。

多量に描かれています。
どうも、お姫様の王冠を飾る様子に描かれています。







● ● ● ●

この本を手に取っていただくにあたり、私が「何をいいますか」と尋ねたところ、

【参考文献】

THE UNIVERSITY OF CHICAGO

いまだに黒口ウツの黒口ウツでない様子のの壁面下す

十、其他应付款 1,000,000.00

— 100 —

ふはすもつと心持ちにして、たまたますが、作者の情を酌み加へてゐる。

我々朝野双方とも「下」の労働階級を支持している。た

この作編の「サインビロー」は、まずなかに「出番が読めるサインビロー」

[illegible][illegible]

Abstract

[illegible]

國産品のみに限定して、統一全額返金です。

又、本家として、職に上り、女傭けで暮らした、と思ひます。

要する處になつて「半島ライ」や「鬼」、あるいは「死」や「病」、一言の「死」の外の風景などが「もう一つ館」の世界の中にあるを窺ふべきである。

山手線や丸の内線の駅で、本線に乗る客が上り下りして、乗客が

Figure 1. The effect of the concentration of the inhibitor on the rate of polymerization of α -methylstyrene in the presence of SnCl_4 at 25°C .

2017年12月15日 星期五

夢を覚め醒んでいたら、ほて太腹うれしいです！

いた。わたしは手帳やメールを拝見していると、いつか必ずさきさまの人生を持った方々に自分の描いたものが読まれていることを改めて感じます。

い、重たさのある人生を飾った人になるのだということを感じます。

THE UNIVERSITY OF CHICAGO PRESS

2010年12月10日

100

いつも本当にお世話になっております。

作品を読者に届けてくださった方がとても多いです。

特に第1巻のとき、イベントを開いてくださった方、大きく取り扱ってくださった各書店様。

本当にありがとうございます。

生まれたことで、まだ家族や人のようなものをこの作品に手を貸して立ち上がるのを助けてくださったこと、感謝いたします。

おかげさまで無事第2巻に繋げる事が出来ました。

いい作品になりました。

これからもどうぞよろしくお願い致します。

内容、制作スタイルなどを全ての面での僕の「作家性」を最大限に暴露してゆくある「アフタース」編集誌には深く感謝します。
身の引き締まる思いです。

早速されるに値する仕事をします。

田中編集者の村上孝宏さん、いつもありがとうございます。

誠意をお仕事ぶりにいつも助けられていきます。

ようやく少しずつ「めすー」なやではという「村上―田中組」の個性が出てきているように感じます。

楽しい仕事が続きますが、これからもうやよろしくお願いた

します。

竣工の石川順美さん。

第1巻の美しい竣工は多くの人から非常に好評をいただきました。

すてきうれしかったです。

この第2巻も絶り強い仕事をしてくださるでありがとうと感じました。

僕にとりて作品を描き進めることは、あらかじめは受けた地固を手にして計画と通りに進んでいくのは楽々感じます。
もう少し野放し冒険の感覚です。

人物も世界も物語も、作者の思いもよらなかつた姿を現しています。

「めすー組」はとうやく第2巻です。

これから、どんな世界が見えてくるのか、どこまでたどり着けるのか。

楽しみです。

ではまた第3巻をお会いしましょう。

どうぞ、お元気で。

伏卷予告



ミミア姫
第3巻

乞うご期待!

国中ユタカ

1988年5月6日、大塚市生まれ。

主な作品

『幼虫のブアーブーナイト』(竹書房)

『怪物』(竹書房)

『殺人』(角川文庫)全3巻(角川文庫)

『愛しのかな』1巻～(竹書房)

個人ホームページ

『国中ユタカのページ』

<http://www.tot1.co.jp/~yutaka/tautaka/>

雑誌一覧

第1巻 早稲田(月刊アフタヌーン2007年4月号)

第2巻 以て盡の長閑(月刊アフタヌーン2007年5月号)

第3巻 虎の42巻の少年(月刊アフタヌーン2007年6月号)

第4巻 博士の発見 ―モルト・バグムツ― (月刊アフタヌーン2007年10月号)

以上全巻無断転載・河合武志氏に反論・せしめた。

アフタヌーン系でも唯一
2007年5月21日 第一巻発行

国中ユタカ 第2巻

著者 国中ユタカ

発行所 株式会社講談社

〒107-8331 東京都港区新橋3-17-11

電話 03-3561-1111

販売部 03-3561-1111

編集課 03-3561-1111

営業課 03-3561-1111

総務課 03-3561-1111

経理課 03-3561-1111

印刷 03-3561-1111

装幀 03-3561-1111

発行 03-3561-1111

発行所 株式会社講談社

〒107-8331 東京都港区新橋3-17-11



アフタヌーン公式携帯サイトのお知らせ

携帯



『ミミア姫』第2巻の
表紙のデジタルトレカを
携帯アプリで無料配信中!



アプリコード
3312

<http://aftm.jp>

※このコードは携帯で読み取ることで
アプリをダウンロードしてご利用いただけます



アフタヌーンの
最新情報や
特集がいっぱい!

特選

毎月、月刊アフタ
ヌーンの発売日に
特選を配信!

ニュース

イベントや関連商
品などのアフタ
ヌーン最新情報は
ここでチェック!



デジタルトレカ

『女神』『おまじり』『義経』などの人
気作品をトレカボックスで楽しめる!

所ノラデビュー30周年
特集を期間限定
配信中!

(2008年3月25日～6月30日)

特選画像配信!

<http://kcw.jp>

待受コミック調度社

月額 3,800円(税別)

ミミア姫 2

第 1 卷 第 1 期

田中ユタカ